



佐藤 博 議員

国道155号南進推進のため 市が用地の先行取得を

問

国道155号（以下「155号」・関連記事7画）について聞く。

(1) 155号の重要度の認識と、南進が進まない原因をどう把握しているか。

(2) 要望では進まない。

市長が先頭に立ち、用地取得は市がやると言って県知事に交渉すべきである。

以前に南進用地（取得のため前ヶ須地区）の区画整理を提案したが、難しいという回答で、その後土地はどんどん売られていった。代替用地を買っておこなう方法があったはずである。調査等はしたのか。

県は南進より ふ頭周辺を優先

答 市長

(1) 鍋田ふ頭の背後道路が27年度完成予定で、鍋田干拓からの北進を当面進めたいという（事業主体の県の）話で、市もしっかり依頼していきたい。

南進は事業認可が予定されておらず、これをどう（県が）認可を受けられるかが、先決的な問題と

思っている。

(2) 昭和48年に（155号が）都市計画決定され、もう40年になる。地権者承諾が得られなかったことも含め、多々課題があると思う。

事業認可なしで土地を先行取得した場合、地権者の税控除が（認可後5千万円に対し）1千500万円になり、理解が得られないと思う。



国道155号高架橋

問

世界を見据えた農業 モデル地区創設を

仮に土地開発公社で取得した場合、公社の管理費、金利を含めて、買い戻さなければならぬ。

道路計画、区画整理は大変難しい。道路計画は進めなければならぬので、地権者と協議していきたい。

農業について聞く。

(1) 日本の農業が（世界で）競争に勝てない原因を、どう考えるか。

(2) 農業構造の大改革に取り組まなければ、生き残りは困難ではないかと考え、市で協議し、モデル地区をつくってはどうかと（以前）言ったが、協議したか。

農地集約、オペア 援を今後の方向に

答 市長

(1) 日本は農地区画が小さい。今後、国策での集約化が望まれ、農家への補助制度をしっかりともらいたいと思っている。

(2) 効率的な農作業ができるよう（農作業を委託する）オペレーターを支援、育成するのが課題であり、今後の方向だろうと思っている。

農地を集約、法人化し、新たな産業を掘り起こすこととは大いに賛成する。努力していきたい。